

47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

三重県

貯金700万円返還せず クリーニング業者を送検 四日市労基署

2024/08/05

三重・四日市労働基準監督署（三浦かをり署長）は、外国人技能実習生 1 人の貯蓄金約700万円について、退職時に請求があったにもかかわらず返還しなかったとして、クリーニング業とリネンサプライ業を営む(株)響四サービス（三重県四日市市）と同社代表取締役を労働基準法第23条（金品の返還）違反などの疑いで津地検四日市支部に書類送検した。返還請求に対し、100万円を返還するに留まり、請求日から 7 日以内に全額を返還しなかった疑い。



「第二の故郷」名張にさようなら 5年の実習 終えインドネシアに帰国の2人

2024/10/14

文具・オフィス家具メーカー「コクヨ」の
三重工場（三重県名張市西田原）で働くイ
ンドネシア人技能実習生、ファジャル・ア
フマッド・コドラットさん（24）とマクム
ディさん（24）が、5年の実習期間を終え
て10月下旬に帰国する。言葉の壁を乗り越
え、充実した日々を過ごした名張市を2人は
「第二の故郷」と呼ぶ。



【ファジャルさん（左）とマクムディさん＝名張市西田原で】

無資格従業員働かす 入管法違反で逮捕 ベトナム国籍の女2人

三重・松阪

2024/10/11

三重県警松阪署などは10日、出入国管理および難民認定法違反（不法就労助長）の疑いで、いずれもベトナム国籍で、三重県松阪市の風俗店経営の女（31）と、女の店の従業員で市内の別の女（28）を再逮捕した。

同署によると、経営者の女は、2022（令和4）年12月2日から今年2月7日までの間に、経営する愛宕町三丁目のスナックで、いずれもベトナム国籍の女性従業員2人を、風俗営業に従事することができない在留資格にもかかわらず働かせた疑い。



介護人材受け入れ促進 三重県がインドネシア保健省と覚書

2024/08/20

インドネシアの介護人材の積極的な受け入れを進めていくため、三重県とインドネシア保健省は7月30日、覚書を締結した。インドネシア保健省が、日本の自治体と覚書を結ぶのは初めて。締結式が県庁であり、一見勝之知事と保健省のアリアンティ・アナヤ保健医療人材総局長が覚書に署名した。覚書に基づき、同省はインドネシアの国立医療福祉大に日本語課程を設置するなど、同県内で働く意欲がある人の学習支援を充実させる。



覚書を掲げる一見知事（右）とアナヤ総局長＝三重県提供

四日市市のビレッジハウスで多文化共生イベントを開催

2024/10/20

ビレッジハウス・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：岩元 龍彦、以下ビレッジハウス）は、三重県四日市市にある「ビレッジハウス笹川」で、国籍や世代を超え、入居者が共に音楽や食を楽しみ交流する「ビレフェスin笹川」を2024年10月19日（土）に開催しました。コミュニティイベントを三重県で開催するのは今回が初めてとなります。



「ビレフェスin笹川」会場の様子



エイサーグループによる演舞



金融ワークショップに取り組む子どもたち



地域で活動するブラジル人歌手によるライブ

[約150人が音楽や食を共に楽しみ、国籍や世代を超えたコミュニティをつなぐ 10月19日、四日市市のビレッジハウスで多文化共生イベントを開催 | ビレッジハウス・マネジメント株式会社のプレスリリース](#)

「できやん」「あかん」伝わってますか？ 鈴鹿市が「やさしい日

本語」インスタで発信

2024/09/19

「やさしい日本語」使いませんかー。鈴鹿市が、Instagramのアカウントを使いながらこんな情報発信を始めた。「やさしい日本語」は、阪神・淡路大震災での反省を機に、外国人にも迅速に正しい情報を伝える手段として始まった。行政を中心に使われているものの知名度は今ひとつ。人口の多国籍化が進む中で、平易な言葉での日本語コミュニケーションを役所の窓口や市民同士で取ってもらおうのが狙いだ。

